

第5回富士見市文化芸術振興委員会 議事録

日 時 平成28年12月20日(火) 18:30~20:00
場 所 鶴瀬公民館第3集会室

出席者

加藤	氣賀澤	大橋	小倉	吉川	野村	佐藤
○	○	○	×	○	○	○
秋元	肥田	関	星野	長坂	東海林	高橋
×	○	×	×	○	×	○

○事務局

【地域文化振興課】中嶋課長、田中主事補

1 開 会

2 あいさつ 加藤委員長

3 議 事

(1) 平成27年度文化芸術事業報告書について

事務局より平成27年度文化芸術事業報告書の説明を行う

「振興委員会コメント」欄に関して、評価ではなく各ライフステージにおいて芸術に係る委員から率直にどう思ったかという視点での意見・コメントを戴きたい旨、次回の委員会で今回未実施分のコメントを戴き、それでも終わらない箇所に関しては委員長・副委員長でコメントを行う旨を再度説明した。

8. 自衛隊コンサート

委 員) レクチャーは本番前に行うのか。

事務局) 舞台設置・リハーサルなどの関係からコンサート後に行なっている。
各パートごとに指導者がつき、各部屋に分かれて行う。

委員) レクチャーには何人参加するのか。

事務局) 150人程度。

委員) 引率の先生は来るのか。

事務局) 基本的に来ていただいている。

委員) レクチャーのPR方法はどのように実施しているのか。

事務局) 対象である各学校の校長および吹奏楽部の顧問を通してお知らせしている。

委員) レクチャーは他の市でも行っているのか。

事務局) 確認はできていない。

委員) チケットがとりにくいイベントとなっているようだが。

事務局) 去年までは先着順であったが、平成28年度からは往復はがきを使用した
抽選形式で行った。抽選方法に関して本年度は苦情が無かったこともあり、
来年度以降も継続したい。

委員) 周知の手段はどのようにしているのか。

事務局) 広報誌と市ホームページで行っている。

委員) 今年度のコンサートでは東中との合同演奏は何曲行ったのか。

事務局) 2曲行った。

委員) 吹奏楽団のレベル向上や鑑賞の機会を増やす意味でも合同演奏は
とても良い経験になる。ぜひ継続してほしい。

9. 地域住民のためのコンサート

委員) 参考までに針ヶ谷小学校では独自にコンサートを企画している。毎年編成は
変えているが出演者は体育館ではなく音楽室での演奏を希望する。それは彼
らの「演奏を間近で感じてほしい」という考えである。今回のコンサートは
三重奏だが、キラリふじみのメインホールでは大きすぎたのでは。また、振
り返りに「近隣の音楽大学などへの周知」とあるが、音大生がフレッシュマ
ンアーティスト、いわゆる若手のコンサートに来るかどうかは少し疑問に思
う。

委員) このコンサートを知らない人が多かったように思われる。PR不足である。

委員) 集客対象は誰なのか。

事務局) 広く地域住民を対象としている。

委員) もっと対象を絞って企画をしたほうが集客につながるのでは。

委員) 事業実施に重きを置くのではなく、集客数を考え、時期などももっと企画
として練るべきであったのではないか。

委員) キラリふじみで行われるクラシックコンサートは年1回程度と少なく感じている。音響的にも恵まれたホールであるので、単発ではなく継続的にきちんと予定をたてて実施してほしい。

事務局) 実施時期や周知方法など、今後の検討事項としたい。

委員) コンサートのタイトルは誰が決めたのか。

事務局) 三井住友財団である。タイトルや出演者など、あらかじめパッケージになっているものに申し込む形になっている。

10. 市民文化祭・創造都市ネットワークへの参加

委員) 参加者の高齢化により出展数が減っているように思う。

委員) 平均年齢はどのくらいなのか。

委員) だいたい70代くらいである。

委員) 販売を目的とした展示をお断りしたため、展示数が減少したのでは。

委員) 我々のころは定年後や定年前から活動をはじめ、続けるということがあった。今の世代は定年も伸び、70歳くらいまで働かなければいけない状態であり、自分のための趣味活動を行うチャンスがない。何かしらの手は打たなければならない。美術協会では美術展に富士見高校写真部に参加してもらうなどの努力をしており、少しずつでも若い世代を開拓していく努力が必要である。

委員) 小学校や中学校、高校の発表会を文化祭で行うことはできないのか。

事務局) 学校の発表会は教育の一環で行っているためコラボまで行くのかどうかは難しいように思う。公民館や交流センターで行われているものであれば可能性があるかもしれない。

委員) この前キラリふじみのダンスフェスティバルを見に行ったが、若い人たちがいろいろなジャンルのダンスを踊っているのを見て「和」の世界に参加していただけないかと感じた。

委員) 創造都市ネットワークへの参加とあるがこれは文化祭とは関係ないのではないか。

事務局) 市民文化推進事業の中の一つという位置づけであるが、わかりにくいので今後は項目を分ける。

11. 職員合唱団

委員) 現在、合唱団は1年で解散してしまうが継続して部として活動できないのか。

事務局) 声掛けはしたことはあるがなかなか継続は難しい。新入職員に文化芸術を通じたまちづくりを行っていることを体験してもらうとともに、地域の文化芸術団体との交流という側面もある。

委員) 地域の交流だけではなく大会などにも出てはどうか。

委員) 市の職員にもぜひ文化祭に足を運んでほしい。

委員) 市長や議員の皆さんもお忙しいとは思いますが是非じっくりと文化祭を見に来てほしい。

1 2. 地域情報のネットワークサービス

委員) 若い人を取り込むには良い仕組み。

委員) 「ふわっぴー」が質問に対してQ&Aなどで答えたり、キャラクターの特性を生かしたコメントが行えるなどすると、SNSなどで爆発的に拡散する可能性がある。ターゲットを若い人に絞って行っていると市外にも広くアピールできてよいのではないか。

委員) 「ららぽーと富士見」からキラリふじみに行こうという人がなかなかいない。逆にキラリふじみから「ららぽーと富士見」に行く人はいる。キラリふじみには大きな看板がないこともあるが、観光アプリを通じて「ららぽーと富士見」に来たお客さんにキラリふじみでの催しをアピールできるようにしたい。

1 3. 環境問題啓発ポスターの掲示

委員) 事業予算に対して決算額が多すぎる。

事務局) 誤記載の可能性はある。担当課に確認する。

委員) 審査はどのように行っているのか。

事務局) 出展作品の中から最終的に6点を選出し、「富士見ふるさと祭り」で表彰を行っている。

委員) 夏休みの宿題ということもあり出展数も多い。

せっかくの機会なのでもっと絵の描き方を学べる機会にしたい。

1 4. ふじみ野交流センター生涯学習事業

委員) 予算の項目が未定となっている。継続して行っている事業で未定ということはありません。

委員) ティータイムコンサートは一昨年100円をお茶代として徴収していたような気がするが、昨年は予算から出たのか。

事務局) 料金、予算含め、確認する。

1 5. 1 6 省略

17. 鶴瀬西交流センター生涯学習事業

- 委員) 人事異動等により事業の運営の方向が変わることは課題であると思う。
過去に陶芸サークルと生け花サークルが連携して陶芸サークルが作った器に花を活けたりしていた。このようなサークル間の交流を今後進めていくとともに、地域の商店や農家とのコラボ企画をぜひやってほしい。
- 事務局) 今回意見を担当に伝えることができる。それが報告書を通じて他の公民館にも市民の声が届き、地域の交流がますます浸透してゆけばと考えている。

その他

- 委員) 南畑公民館の項目が少ない。
- 事務局) 各担当部署に各部署の事業から選出してもらっている。
- 委員) 公民館の主催事業のみということか。
- 事務局) このアクションプランは行政の事業を主に対象としているため、市民主催の事業は載せきれていないことをご理解いただきたい。
- 委員) このような評価だけではなく、これからの富士見市の文化芸術をどのように進行すればよいかを考えるのが我々の仕事ではないのか。
- 事務局) 過去の実施事業に対して市民の声を戴くことは必要なことだと感じているが、今回は初めての試みということもあり、時間がかかりすぎていることは否定できない。来年度以降は作業部会に分け、作業を効率化するなど時間をかけないように改善したい。現在の委員会は今年度で一度解散するが、来年度以降は後期に向けての計画づくり、前半の計画の過不足を考慮し、計画づくりにかかわっていただきたいと考えている。また、後期計画に関しては第3者委員会を組織し、そこでも協議を行う。

事務局より今後の委員会の流れとマイナンバーの確認に関する説明を実施した。

4 閉 会

氣賀澤副実行委員長

以上